

第19号

本小の教育「授業研修会」

3年経研

● 授業スタンダード期

『授業の型づくり』

今週は、ルーキーズの第3学年の登場です。『リレー方式・互見授業』も佳境に突入です。新任の学年主任・タッ君は、武本部町民の血統を継ぎ、国頭村の奥間にては、「学びの共同体」授業改善コーディネータ兼研究主任を遂行。風体から面白い存在である。ルーキーズ学年は、

■3の1（卓）たし算とひき算の筆算（1／8）時間

■3の2（萌）ルーキーズ（初任研）（2／8）時間

■3の3（順子）ルーキーズ（2年研）（3／8）時間

やん・やんちゃん3年生諸君と
ニュールーキーズ・チームとの
バトルが楽しみである！！

■ 3年3組（算数）「花城 順子」先生 3校時 2年経授業



【児童の手(学習規律)】



【教室の色(支持的風土)】



【教師の眼(教師の姿勢)】



■「今回の授業改善研で良かった点」■

- 先ずは、「指導案」である。昨年度よりかなり進歩した。県立教育センターに出せるような内容である。
- 単元（題材）系統性図を示している。現在の3年を中心に、2学年との関連、3学年の今後の繋がり、4学年への関連が図式されている。Very-Good..!!
- 児童観は、レディネスの結果・分析と治療指導まで触れている。



- 2年研の個人の研究テーマと校内研に触れ、本単元・教材への意気込みも力強く示している。
- 「評価規準」と「指導と評価計画」が明確に示されている。本時の展開にも
- 板書計画、「連動した宿題」、座席表、参考文献もきちんと示されている。
- 何より、先に授業を打ったお二人の良さを取り入れ、改善点は直ぐに対応している姿勢・態勢に、成長の跡を視た。
- 2年研！ガンバレ！順 Cha ルーキーズ

【感想】

「互見授業・2年研授業」（3の3：順子 先生） 2年研授業 第1回目 お疲れさまでした。♥

※「2年研・互見授業・3学年、算数」を参観させていただきました。授業研として 感想を述べます。

- 「児童観」は、生活経験等の異なる子共達を、教材へ、本時へ、他の思考へ、「つなぐ」役割がある。
- 「教材観」は、「問い」方を「学ぶ」こと。「学んだ」ことを「問う」こと。視点を持って教材分析を。
- 「指導観」は、「机間指導と手立て」。「教師の眼」⇒「きく」「つなぐ」「もどす」「ケアする」である
- 「算数観」は、「理科は、発明」「数学は発見」。「すでにある良さ、美しい、を見つけ出し、活かす。」
- 「授業改」は、「教師の指示」多いと「指示を仰ぐ質問」が多くなる。今、すべき事は分かっている。
- 「良授業」は、「自立・自律」を促し、自覚を持たす「学級経営」にある。日々の学級経営が基盤だ。



校長より